

株主・投資家のために

適時・適正な開示で経営の透明性を高めるとともに、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを深めるために、さまざまなIR活動を推進しています。

■ 情報開示に関する基本方針

富士通は、金融商品取引法などの法令および上場している証券取引所の定める規則に従い、公平性・継続性を重視した情報開示を行っています。

また、法令、規則で開示を要求されていない情報であっても、株主や投資家などステークホルダーの皆様にとって、当社に対する理解を深めていただくために有効であると当社が判断したものに関しては、積極的に開示していく方針です。

■ 株主還元の基本方針

富士通の定款第40条に規定される「剰余金の配当などにおける取締役会に与えられた権限の行使に関する基本的な方針」では、株主の皆様へ安定的な剰余金の配当を実施するとともに、財務体質の強化および業績の中長期的な向上を踏まえた積極的な事業展開に備えるため、内部留保を充実することとしています。

また、利益水準を勘案しつつ内部留保を十分確保できた場合には、自己株式の取得など、積極的に株主の皆様へ利益を還元するよう努めています。

■ 株主・投資家とのコミュニケーション

富士通は、機関投資家・証券アナリスト向けの説明会、個別取材への対応、国内外の投資家訪問、ウェブサイトによる情報発信など、国内外でのIR活動を通じて、投資家の皆様とのコミュニケーションを図っています。

また、プレスリリースを積極的に行うなど、マスコミを通じて個人投資家や社会への情報伝達に注力し、フェア・ディスクロージャーに努めています。

株主総会では、株主の皆様とのコミュニケーションを図るとともに、富士通への理解を深めていただけるよう、株主総会会場に富士通の製品を展示しています。加えて、株主総会アンケートを実施し、翌期以降の株主総会の改善に努めています。

国内外での各種ミーティングの開催

富士通は、国内の機関投資家や証券アナリストの皆様に対して、決算説明会や、経営方針説明会、事業説明会を開催しています。

海外の機関投資家の皆様に対しては、定期的に欧州と北米で海外ロードショー（投資家向け説明会）を開催するほか、現地のスタッフが投資家に対する個別訪問を行っています。

個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

個人の株主・投資家の皆様に対しては、中間決算時と本決算時に「中間報告書」「報告書」を送付するほか、アナリスト向け説明会で用いたIR資料や決算説明会の資料・映像などをPDFファイルやストリーミング技術を用いて迅速に公開しています。

また、中間配当の通知と同時にアンケートを実施し、株主・投資家の皆様から広くご意見をいただいています。

● IRサイトによる情報発信

富士通は国内外のIRサイトにて、富士通についての紹介や各種開示資料など、株主・投資家の皆様へ知っていただきたい情報を発信しています。

IRサイトでは、株主総会議案を早期に公開するなど、IR活動を通じて皆様の富士通への理解が深まるよう、情報開示とコミュニケーションを図っていきます。



- 株主・投資家の皆様(国内IRサイト)
<http://pr.fujitsu.com/jp/ir/>
- Investor Relations(海外IRサイト)
<http://www.fujitsu.com/global/about/ir/>
- 個人投資家のみなさまへ
<http://pr.fujitsu.com/jp/ir/private/>
- プレゼンテーション
<http://pr.fujitsu.com/jp/ir/library/presentation/>

2010年度の主要IR活動実績

		2010年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2011年 1月	2月	3月
国内	株主総会			● 株主総会									
	経営方針説明会				● 経営方針								
	決算説明会		● 本決算			● 1Q決算			● 中間決算			● 3Q決算	
	事業説明会	● R&D*									● SIビジネス勉強		
海外	ロードショー		● 北米	● 欧州			● アジア		● 欧州	● 北米			

● 2010年度の国内・海外機関投資家・証券アナリスト個別取材件数:約1,050件(海外58%、国内42%)
※ R&Dは3月31日に実施。